取扱説明書

DAYTONA®
S48796①/⑧

*取り付ける前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。
*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

スーパーDRAG ビックボアキット 67.6cc	適応車種	商品 NO.
	ＺＺ('00～)<CA１PB> レッツ/Ⅱ('96～)<CA１PA/KA/KB> ストリートマジック<CA１LB>	48796

この度はデイトナ「ビッグボアキット」をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。
ご使用前には必ずこの取扱説明書をよくお読みください。また、取り付け前に必ず商品の内容をお確かめください。
なお、万一お気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店にご相談ください。

〈特徴〉

- ボアサイズを許容範囲最大の 48mm まで拡大し、圧倒的なパワー感＆トルク感を実現。
- 巨大化した 48mm ピストン専用の燃焼室を確保したシリンダーヘッドなど一式付属。

〈商品内容〉

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	ビッグボアシリンダー	48mm	1	⑧	ピストンサークリップ	10mm用	2
②	ピストン	48mm	1	⑨	ボルト		2
③	ピストンリングセット	48mm	1	⑩	原付二種表示ステッカー		1
④	ピストンピン	10mm	1	⑪	点火プラグ	ＢＲ８HS	1
⑤	シリンダーヘッド		1	⑫	ＥＸガスケット		1
⑥	シリンダーガスケット		1	⑬	小端ベアリング		1
⑦	ヘッドガスケット	t＝0.8mm	1				

〈商品内容〉

- この商品を装着すると、車両の排気量が 67.6cc（＝ピストン半径 24mm×ピストン半径 24mm×円周率 3.14×ストローク 37.4mm ÷ 1000）に変わるため、原付二種扱いとなります。一般公道で使用する場合は、以下に挙げる「免許」「ナンバー登録」「保険」の条件を全て満たしている必要がありますのでご注意ください。
  1. 免許証は、必ず普通二輪（小型限定以上）を取得していること
  2. 車両のナンバープレートは、所轄の区・市町村役所へ排気量アップ（67.6cc）の届け出を行い、原付二種に変更したものを使用すること
  3. 自賠責保険（および任意保険）は、排気量変更後の車両を対象とした内容となっていること
- この商品は道路運送車両法および道路運送車両の保安基準に適合しております。但し、一般公道において 60km/h を超える速度で走行した場合は、ライダー自身が道路交通法違反（速度超過）で罰せられます。また、マフラー（チャンバー）やキャブレター交換などにより、法規上の騒音規制値を超えるような場合においても同様に罰せられます。一般公道では必ず遵法運転を心掛けてください。
- **この商品はエンジン部品です。組み付け難易度も高いため、取り付けの際は販売店または認証工場へ依頼し、エンジン整備を熟知したメカニックの方が必ず作業を行ってください。**
- **取付作業を行う前に、キットの構成部品をよく確認し、シリンダー各ポート窓のバリの状態確認（および除去）、ピストンクリアランスの状態などを事前に十分チェックしてください。車両への取り付け前の不具合につきましては、商品初期不良として対処させていただきますが、これら事前チェックを怠り、車両への取付作業完了後（またはご使用中）にトラブルが発覚した場合は、取付工賃など、商品以外の保証は一切できません。**
- 初期なじみ向上のため、ピストン表面にはモリブデンコーティングを施しております。製造個体差などにより、一部コーティングが剥げている場合がありますが、これは不良ではありません。安心してご使用ください。
- 取り付けの際は、走行中にネジ部などが緩まないよう、トルクレンチを使用して各々規定トルクで確実に締め付けを行ってください。

2013/09/10

- この商品を装着すると、ノーマルエンジンよりも発熱量が確実に増大します。ライダー自身により「吸排気」「点火」「オイル」「エンジン回転数」などのご使用状態が適切に管理されないと、焼き付きなどのエンジントラブル（保証対象外）の原因となります。車両への取り付け前の事前チェックでは問題がなく、車両への取付作業完了後（組み付け直後や慣らし運転時、通常使用時）に発生したトラブルにつきましては、取付工賃など含め、当社では一切保証できません。予めご了承ください。

- この商品を 1999 年 9 月以降の排ガス規制モデル（触媒付きマフラー標準採用車）の純正マフラー＆キャブレターのまま高回転域で連続使用されると、エンジン発熱量に対する吸排気のバランスが崩れ、所定の性能が発揮できないばかりか、マフラー触媒が異常過熱され、ライダー自身が火傷したり、オーバーヒートによりエンジンが破損する場合があります。そのため、レッツ/Ⅱなど、排ガス規制前のモデルの純正マフラー＆キャブレターが装着可能な車両にビッグボアを装着する場合は、必ず排ガス規制前の純正マフラー＆キャブレター（または当社 PE24 ビッグキャブ）に交換した状態でご使用ください。ZZ など、排ガス規制前のモデルが存在しない車両にビッグボアを装着する場合は、純正マフラー＋当社 PE24 ビッグキャブの状態でご使用ください。尚、何れの場合も、当社デジタルタコメーター（品番 46161：別売り）などで適切にエンジン回転数管理（9500rpm 以下での走行）を行う必要があります。

- この商品指定の点火プラグは BR8HS（新品付属）です。プラグ交換される場合は必ず同等品とし、熱価は#8 以上としてください。#7 以下の熱価のプラグ（または摩耗したプラグ）を使用されると、先端電極が溶けてしまい、ピストン穴開きなどのエンジントラブル（保証対象外）の原因となります。

- 使用する 2 ストロークオイル（純正分離給油＋混合ガソリン時）は、当社テストでも実績のある「モトレックス FORMULA 2T」「カストロール POWER1 TTS Racing」「ワコーズ V2R」「エルフ モト 2 ウィナー」をオススメします。他の銘柄のオイルを使用する場合は、オイルメーカー指定の推奨混合比が必ず 30：1 以上となっている高性能オイルをご使用ください。ご使用状況が適切に管理されないと、エンジン高温下で油膜切れを起こし、焼き付きなどのエンジントラブル（保証対象外）の原因となります。

- 使用する CDI は、当社パワーアドバンス・フルデジタル CDI をオススメします。純正 CDI や当社プログレス・レーシング CDI など、アナログタイプの CDI では、ビッグボア後のエンジン出力特性に CDI が追従できず、本来のスロットルレスポンスが得られない場合があります。

- 他社製品との組み合わせは未確認（保証対象外）です。予めご了承ください。
  ※主にノーマルエンジン用に開発された市販の高回転型チャンバーなどと組み合わせると、ビッグボアに求められるチャンバー容量が足らないためにセッティングに苦慮したり、空冷ビッブボア＋純正クーリングファンの状態での冷却限界を超えるエンジン回転数（10000rpm 以上）まで回ってしまい、オーバーヒートによりエンジンが破損する場合があります。そのため、お客様の自己責任で排ガス規制前の純正以外のマフラーを使用される場合は、適切なキャブセッティング、オイル管理（純正分離給油＋混合ガソリン、または完全混合仕様）のほか、必ず当社デジタルタコメーター（品番 46161：別売り）などで適切にエンジン回転数管理（9500rpm 以下での走行）を行う必要があります。

- 慣らし運転は必ず行ってください。ビッグボアの組み付けオイルがエンジン内部で燃焼しきるまでは、キャブセッティングは通常以上に濃い目の症状となりますが、慣らし運転のこの段階では焼き付き（抱き付き）などのエンジントラブル（保証対象外）を起こさないことが必須ですので、早計にベストセッティングを求める必要はありません。別紙マニュアルを参考に適切なセッティングを施し、慎重に慣らし運転を行ってください。

- 慣らし運転時はもちろん、通常使用時においても、エンジンを高回転域まで回すような走行をされる場合は、純正分離給油＋混合ガソリン状態（ガソリンタンク内のガソリンが 100：1 以上の混合ガソリンとなるよう、指定銘柄の 2 サイクルオイルを適量ガソリンタンクに追加し、十分に攪拌した状態）、または完全混合仕様の状態でご使用いただくことをオススメします。
  また、この場合、必ず当社デジタルタコメーター（品番 46161：別売り）などで適切にエンジン回転数管理（9500rpm 以下での走行）を行ってください。

- 取り付け後約 100km 走行しましたら各部を点検し、トルクレンチを使用してネジ部等の増し締めを行ってください。その後は約 500km 毎に必ず点検を行い、同様の増し締めを行ってください。

- 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検してください。

- この商品は予告無しに価格や仕様を変更する場合があります。また、文中にて紹介した他の商品につきましても同様です。予めご了承ください。

〈事前確認事項〉

車両への取り付け前の不具合につきましては、商品初期不良として対処させていただきますが、これら事前チェックを怠り、車両への取付作業完了後（またはご使用中）にトラブルが発覚した場合は、取付工賃など、商品以外の保証は一切できません。予めご了承ください。

1. キットの構成部品をよく確認してください。
2. シリンダー各ポート窓のバリの状態確認（および除去）を行ってください。

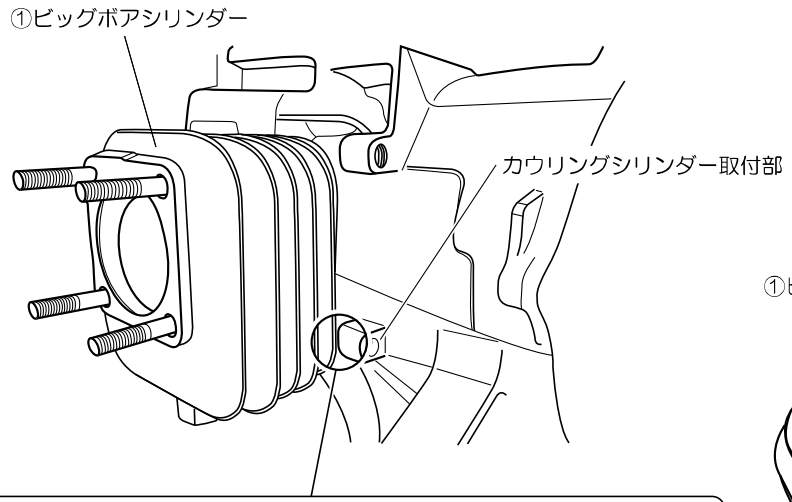
※ 生産時に所定のバリ取り加工を施しておりますが、シリンダー内面の各ポート窓のバリを再度十分チェックし、有害なバリが残っている場合は、その箇所を小さな平（または角）ヤスリで適切に面取り加工し、組み付けオイルを塗布した耐水ペーパーで最終的に仕上げてください。

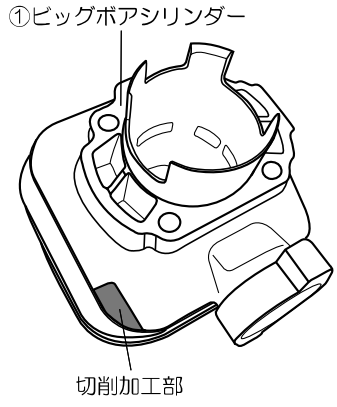
3. ピストンクリアランスの状態を十分チェックしてください。
4. キットの構成部品には、予め防錆油が塗布されているパーツがあります。この場合、パーツクリーナーなどで各々洗浄してから、組み付け作業を行ってください。

〈作業中確認事項〉

セピア系、アドレス系、ヴェルデ系などの車両は、純正カウリングシリンダー取付部と当社ビッグボアシリンダー冷却フィンの一部が接触し、ガスケット不良で二次エアを吸ってしまう場合があります。そのため、作業中、純正シリンダーを取り外した際に、純正ピストンの状態で当社ビッグボアシリンダーを仮組みし、クリアランス確認を必ず行ってください。

※万が一接触する場合は、下図を参考に当社ビッグボアシリンダーの冷却フィンを切削加工し、クリアランスを十分確保した上で、組み付け作業を行っていただく必要があります。





●セピア系、アドレス系、ヴェルデ系などは、車両のカウリングシリンダー取付部と、当社ビッグボアKITの①ビッグボアシリンダー冷却フィンの一部（上図の○印箇所）が接触し、ガスケット不良で二次エアを吸ってしまう場合があります。

●そのため、純正シリンダー取り外し後、純正ピストンの状態で①ビッグボアシリンダーを仮組みし、クリアランスを必ず事前確認してください。

●万が一接触する場合は、右図（グレー部分）の様な形状に①ビッグボアシリンダー冷却フィンを切削加工し、クリアランスを十分確保した上で組み付けを行っていただく必要があります。

※以下のセッティングデータは、ZZ（CA1PB）について記してあります。
その他の車種につきましては、これらを参考に別途セッティングを施してください。

〈ウエイトローラーセッティング〉

1. この商品を装着すると、ノーマルエンジンに比べ出力特性が大きく変化します。エンジン低中回転域ではトルクが増大し、高回転域ではノーマルを大幅に上回るエンジンパワーを発生します。
純正プーリー、当社ハイスピードプーリーを問わず、ノーマルエンジンと同等のウエイトローラーセッティング（総重量）でも走行に支障はありませんが、トルクアップに伴いローギアード気味に感じる場合は、やや重めのウエイトセッティングに変更してください。

2. 当社センタースプリングを使用する場合は、3%アップならウエイトローラー1 個あたり約 0.5ｇ～1.0ｇ（総重量で約 3～6g）、10%アップならウエイトローラー1 個あたり約 1.0ｇ～1.5ｇ（総重量で約 6～9g）程度重くしてください。

3. 加速性能を重視する場合は、変速点の最高回転数を 7300rpm 前後に設定してください。また、燃費や耐久性を重視する場合は、重めのウエイトセッティングとし、エンジン回転数を意図的に落とした状態でご使用ください。

◆ZZ（CA1PB）： 67.6cc ビッグボア＋純正マフラー＋純正キャブ＋PA フルデジタル CDI

プーリー	基本ウエイトセッティング
純正プーリー	51.6g（8.6g×6 個）
当社ハイスピードプーリー 品番 45435	45.0g（7.5g×6 個）～ 51.0g（8.5g×6 個）

※スパークプラグは必ず **BR8HS（新品付属）**（交換時は同等品の熱価＃８以上）をご使用ください。

〈キャブセッティング〉 **※純正キャブの記述は通常使用時の内容です。慣らし運転時とは異なります。**

1. ＺＺ（CA1PB）純正キャブレターを使用する場合、ジェットニードルが非調整タイプで、アクセル開度 1/4～1/2 付近が極端に薄い状態となりますので、必ずメインジェットやスロージェットを十分濃い状態としてご使用ください。目安としては、メインジェットは#80 以上（純正#72）、エアスクリューは１回転戻し程度まで各々変更する必要があります。

※ ＺＺ（CA1PB）純正キャブレターに当社パワーフィルター（ノーマルキャブ用φ35 ストレート、またはアーク）を取り付けること自体は可能ですが、少なくともメインジェットを相当数（#20～25 以上）まで上げる必要があり、非調整タイプのジェットニードルでは適切にキャブセッティングできないケースがほとんどのため、当社ではオススメしておりません。

2. 当社ビッグボア装着時は、当社 PE24 ビッグキャブ（PE24 キャブ本体＝品番 34787、ZZ 用取付キット＝品番 60494：各々別売り）のご使用をオススメします。豊富なセッティングパーツを使用でき、キャブセッティングの自由度が大幅に広がります。

〈その他〉

1. ＺＺ（CA1PB）やレッツ系など、**駆動系のドリブン側の軸が片持ち式の車両にビッグボアを装着すると、ノーマルエンジンに比べ出力特性が大きく変化することにより、車体構造上、高回転域でのエンジン振動（および振動音）が発生します。**ビッグボア装着時よりもエンジン回転数が低く抑えられているノーマル車両では目立たない症状ですが、**車体構造上、この振動（および振動音）発生は解消できませんので、予めご了承ください。**

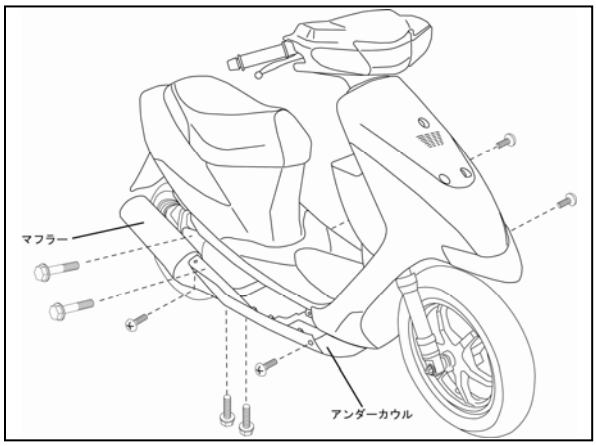
2. **この商品を装着すると、ノーマルエンジンよりも発熱量が確実に増大します。ライダー自身により「吸排気」「点火」「オイル」「エンジン回転数」などのご使用状態が適切に管理されないと、焼き付きなどのエンジントラブル（保証対象外）の原因となります。**車両への取り付け前の事前チェックでは問題がなく、**車両への取付作業完了後（組み付け直後や慣らし運転時、通常使用時）に発生したトラブルにつきましては、取付工賃など含め、当社では一切保証できません。**予めご了承ください。

■取付手順■

※. 以下の取付手順は、ZZ（CA1PB）について記してあります。その他の車種につきましては、純正サービスマニュアルとこの取扱説明書を参照に取り付けを行なってください。

1. 純正アンダーカウルを固定しているタッピングスクリュー（4ヶ）を緩め、純正アンダーカウルを取り外します。このとき、樹脂カウルの爪を折らないよう慎重に取り外してください。

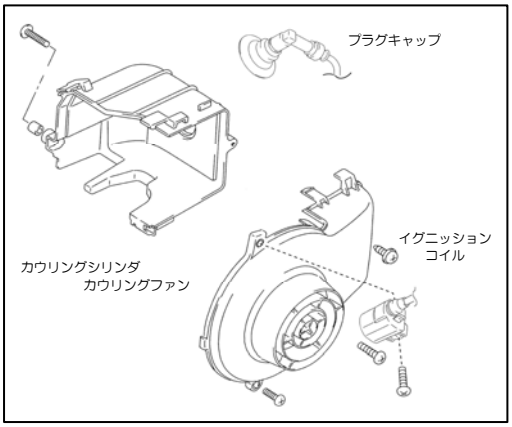
2. 純正マフラーをシリンダー側で固定しているM6ボルト（2ヶ）とステー側で固定しているM8ボルト（2ヶ）を緩め、純正マフラーを取り外します。



3. 純正プラグキャップを取り外し、点火プラグを取り外します。

4. 純正イグニッションコイルを固定しているボルト（1ヶ）と、エンジンに取り付けられた純正カウリングファンを固定しているボルト（3ヶ）、純正カウリングシリンダーを固定しているボルト（1ヶ）を緩め、これらカバー類を全て取り外します。

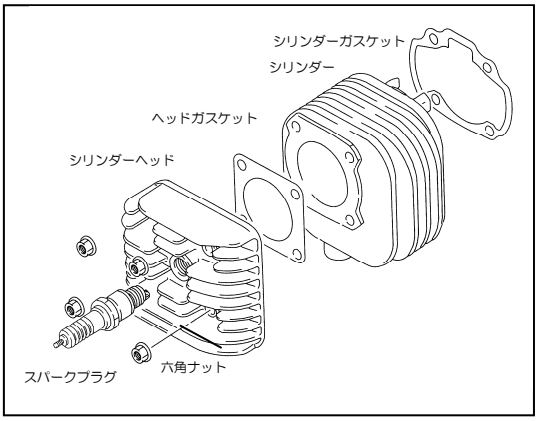
※. このとき、純正カウリングシリンダは、車体左側から取り外してください。



5. 純正シリンダーヘッドを固定している六角ナット（4ヶ）を緩め、純正シリンダーヘッド、ヘッドガスケットを取り外します。

6. 純正シリンダー、シリンダーガスケットを取り外します。

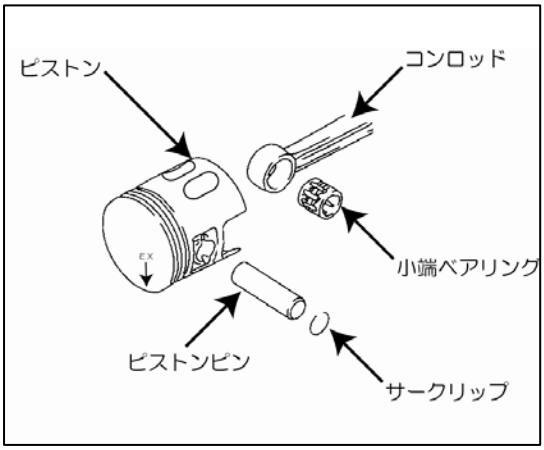
※. このとき、むき出しとなるピストンをクランクケースなどの金属箇所に当ててしまわないよう慎重に作業してください。金属箇所にピストンが当たると、容易に変形し、再使用できません。



⚠注意

※. セピア系、アドレス系、ヴェルデ系などの車両は、純正カウリングシリンダー取付部と当社ビッグボアキットの①ビッグボアシリンダーの冷却フィンの一部が接触する場合があります。
3 ページ記載の「作業中確認事項」を必ず確認し、クリアランスを十分確保した上で、以降の組み付け作業を行ってください。

7. クランクケース内部に異物が入らないように、清潔なウエスをクランクケースに差し込みます。
8. <u>ピストンをクランクケースなどの金属箇所に当ててしまわないよう十分注意しながら、</u>ピストンからサークリップ（1 ヶ）を慎重に取り外します。
9. 手順 8 でサークリップを取り外した側から、ピストンに挿入されているピストンピンを慎重に抜き取り、ピストンを取り外します。
10. 脱落に注意しながら、コンロッドから小端ベアリングを慎重に取り外します。



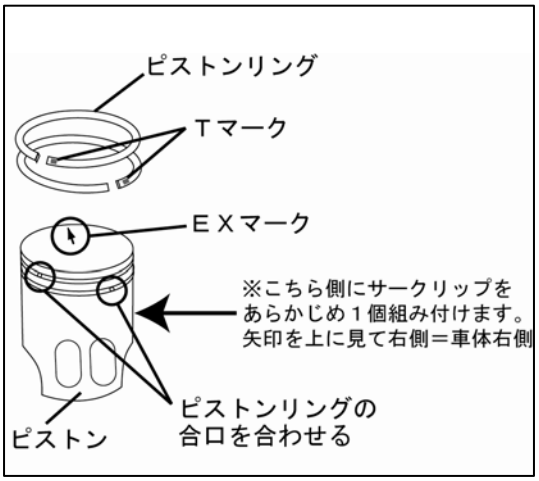
11. クランクケースに付着しているシリンダーガスケットの残りカスを、ガスケットリムーバーやスクレーパーなどを使用して、跡が残らないようキレイに取り除きます

12. ②ピストンのトップリング＆セカンドリング挿入溝に、③ピストンリングセットのリングを組み付けます。

<u>※. ③ピストンリングセットの各リングに、トップ or セカンドの区別はありません。</u>

<u>※. 各リングの合口付近に打刻されている「T マーク」の面を必ず上にし、②ピストンのリング回り留めピン位置にリングの合口を合わせて、各々組み付けてください。</u>

13. 右図を参考に、②ピストンのサークリップ挿入溝（打刻されている「EX マーク」を上に見て右側の挿入溝）に、⑧ピストンサークリップ（1 ヶ）を組み付けます。



14. ⑬小端ベアリングに 2 サイクルオイルを適量塗布し、コンロッド に組み付けます。

15. <u>④ピストンピンに 2 サイクルオイルを適量塗布し、②ピストンに打刻されている「EX マーク」がシリンダーの排気ポート側にくるよう位置関係を正しく合わせながら、②ピストンをコンロッドに慎重に組み付けます。</u>

<u>※. このとき、②ピストンをクランクケースなどの金属箇所に当ててしまわないよう十分注意してください。金属箇所に②ピストンが当たると、容易に変形し、そのまま使用されると焼き付きなどのエンジントラブル（保証対象外）の原因となります。</u>

16. 手順 13 と同様の手順で、②ピストンのサークリップ挿入溝（打刻されている「EX マーク」を上に見て左側の挿入溝）に、⑧ピストンサークリップ（1 ヶ）を組み付けます。
17. 手順 7 で差し込んだウエスを取り除き、クランクケースに⑥シリンダーガスケットをセットします。
18. 手順 12 で③ピストンリングセットを組み付けた②ピストンの外側全面と、①シリンダーの内側全面に、2 サイクルオイルを各々適量塗布します。

19. ②ピストンのリング回り留めピン位置に対し、③ピストンリングセットのリングの合口がずれていないことを十分確認し、両者の位置関係がずれないよう指で押さえながら、無理な力を掛けずに②ピストンに①シリンダーを慎重に挿入します。

※. このとき、スムーズに挿入できない場合は、②ピストンの回り留めピン位置に対し、③ピストンリングセットのリングの合口がずれている場合が大半です。両者の位置関係がずれた状態で無理な力を掛けて挿入すると、①シリンダーのスカート部や内壁、③ピストンリングセットのリングが破損する場合があります。必ず正しい位置関係を保った状態で、慎重に作業してください。

20. ⑦ヘッドガスケット（t=0.8mm）、⑤シリンダーヘッドを取り付けます。

※. このとき、純正ヘッドガスケットは使用不可。圧縮比が大きく変化し、焼き付きなどのエンジントラブル（保証対象外）の原因となります。必ず商品付属の⑦ヘッドガスケット（t=0.8mm）をご使用ください。

21. 手順 5 で取り外した六角ナット（４ヶ）を⑤シリンダーヘッドに手で軽く締め付け、脱落しない程度に各々そこから 1 回転ほど緩めて仮組みします。

22. メインキーオフの状態でキックスターターを数回動かし、①シリンダーのセンター出しを行います。

23. トルクレンチを使用して、手順 20 で仮組みした六角ナット（４ヶ）を、各々対角線を描く順に均等に締め付けます。1 回目は 6N・m（約 0.6kgf・m）で均等に仮締め、2 回目は 10 N・m（約 1.0kgf・m）で均等に本締めしてください。

24. 手順 4 とは逆の手順で、純正カウリングファン、カウリングシリンダを車体に取り付けます。

25. トルクレンチを使用して、⑪点火プラグ（ＢＲ８HS）を 26N・m（約 2.6kgf・m）で⑤シリンダーヘッドに本締めし、純正プラグキャップを元通りに組み付けます。

26. ⑫ＥＸトガスケットと⑨ボルト（2 ヶ）を使用し、手順 2 とは逆の手順で、純正マフラーを車体に取り付けます。

27. 手順 1 とは逆の手順で、純正アンダーカウルを車体に取り付けます。

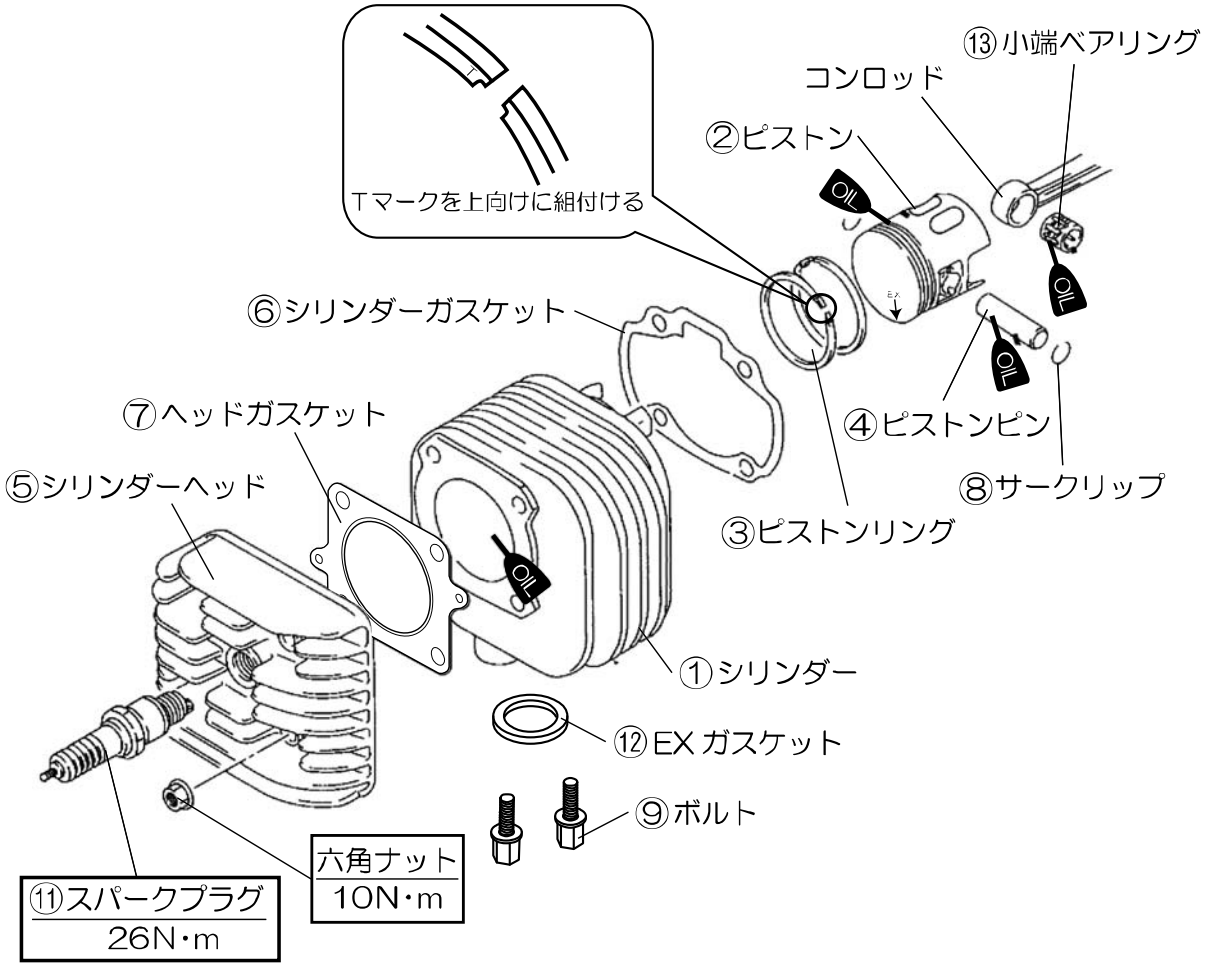
28. 車体前後（U 形状：フロントカバー先端、△形状：リヤフェンダー後端）の見える位置に、⑩原付二種表示ステッカーを貼り付けます。

29. エンジン始動する前に、4 ページ記載のセッティングデータや別紙マニュアルを参考に、適切な「キャブレターセッティング」「ウエイトローラーセッティング」「オイル状態」となっているかどうか、今一度ご確認ください。

※. ビッグボア化した車両のエンジン始動（またはご使用）にあたり、ライダー自身により「吸排気」「点火」「オイル」「エンジン回転数」などのご使用状態が適切に管理されないと、焼き付きなどのエンジントラブル（保証対象外）の原因となります。車両への取り付け前の事前チェックでは問題がなく、車両への取付作業完了後（組み付け直後や慣らし運転時、通常使用時）に発生したトラブルにつきましては、取付工賃など含め、当社では一切保証できません。予めご了承ください。

30. 問題なくエンジン始動できることを確認し、各部に異常がなければ作業は終了です。慎重に慣らし運転を行い、慣らし運転終了後に再度適切なセッティングを施し、当社ビッグボアキット本来の体感性能をお楽しみください。

※. 慣らし運転は必ず行ってください。ビッグボアの組み付けオイルがエンジン内部で燃焼しきるまでは、キャブセッティングは通常以上に濃い目の症状となりますが、慣らし運転のこの段階では焼き付き（抱き付き）などのエンジントラブル（保証対象外）を起こさないことが必須ですので、早計にベストセッティングを求める必要はありません。適切なセッティングを施し、慎重に慣らし運転を行ってください。



#8 相当以上をご使用ください

東証JASDAQ上場
株式会社デイトナ
〒437-0226　静岡県周智郡森町一宮 4805
URL：http://www.daytona.co.jp
◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」
0120-60-4955 まで